

2010年度第3回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録

日時:2011年 1月 7日金曜日 18:30-20:30

場所:東洋大学白山校舎2号館3階第1会議室

出席者:大島巖(日本社会事業大学)、森田明美(東洋大学)、福山和女(ルーテル学院大学)、荒井浩道(駒沢大学)、植木信一(東洋大学、新潟県立大学)、河東田博(立教大学)、高橋克徳(聖徳大学)、月田みづえ(昭和女子大学)、西脇智子(実践女子短期大学)、林浩康(日本女子大学)、山田知子(大正大学)、添田正輝(日本社会事業大学)
敬称略、順不同

報 告:

1. 学会本部の報告

- ・ 関東地域部会委員会規則について
関東地域部会委員会規則について、理事会(10月23日開催)において、部会の規則の承認がなされた。
- ・ 親学会の規程には、「総会を経なければいけない」となっている。
- ・ 総会の意見を聞いた上で、承認を得て、その上で理事会に諮って承認を得る。
- ・ 10月総会のときに、最終的な発行は"関東部会の総会を経て"となっている。
- ・ 学会のルールに従って、各部会のごとに特徴があるので、それぞれ決める。
- ・ なお、規則を決めると活動自体を制限することになるので、細かいルールを決めない方がいいのではないか、というのがこれまでの大勢だった。

2. 各部会活動報告

- ホームページ(荒井委員)
 - ・ 1月200件。毎日20~30件のアクセスがある。
 - ・ 情報量を増やす必要あり。もう少し増えてもよいのではないか。
 - ・ R S S 設置。常連客確保へ。
 - ・ 博士論文の公開審査の情報をアップする。
 - ・ 関東部会会員校の最終講義を掲載するとよいのではないか。他にはなかなか出ない情報。年末年始にかけてアクセスが増えるのではないかと。→当初の予算内であれば可能(予算は余っているので可能)
 - ・ 親学会のメーリングリスト使用できる。費用かかるが、URL貼り付けておき、3月までの間に2回~3回と続けてやってみてはいかがか。

- ニューズレター
- 社会福祉学評論
- 研究大会
- 研究の奨励
- その他

議 題:

1. 関東部会研究大会について(山田委員)

- ・ シンポジウムテーマ:
社会福祉学からの『発信力』—社会にインパクトを与える社会福祉学研究とは
- ・ シンポジウム3人候補

1. 村上英吾氏（日本大学）
2. 後藤広史氏（東洋大学）
3. 川上富雄氏（駒澤大学）

《出された意見》

- ・社会福祉学が発信すべきテーマ、領域を選定した。社会福祉学研究がどのような役割を発揮しなければならないのか。
- ・ワークショップ形式、バズセッションのように議論できるとよいのではないか。
- ・学会賞について基本は関東部会の会員の中から記念の講演をしてもらおうとなっている。2人候補者がいたが、公務の関係で1人になった。したがって、シンポジウムの時間は多少ある。
- ・大会テーマはいいと思うが、シンポジウムのテーマを変更した方がいいのではないか。
- ・報告者にテーマに合った話を入れてもらう。自分の研究領域の話をして終わってしまう恐れがある。

○大会テーマ：

「社会的諸問題に対して社会福祉学研究は何ができるのか」

○自由研究報告について（高橋委員）

- ・研究報告部門（報告30分、質疑応答25分）
- ・萌芽的研究報告部門（報告15分、質疑応答10分）
- ・実践報告部門（報告15分、質疑応答10分）

2. ニューズレター

- ・法政大学岩崎氏、研究担当理事として関東部会に期待することを寄稿して頂く。
- ・大島部会長：巻頭原稿、森田委員：これまでの取り組みについて。
- ・関東大会お知らせ（山田委員）
- ・自由報告（高橋委員）
- ・社会福祉学評論の投稿促進記事（小林委員） 昨年の記事と同様の内容。
- ・ホームページのアクセス情報
- ・締め切り：1月20日（メールで月田委員へ）

3. 社会福祉学評論の発行について

- ・投稿論文の状況

4. 2010年度予算の執行、2011年度予算・事業計画（大島部会長）

（1）2010年度予算

【報告】

- ・2010年度の予算執行はまだ進んでいない。有効活用していく。
- ・ウェブ、eジャーナルの充実。海外のeジャーナルに使いやすいものがある。参考にして整備していく。過去論文文化されたものをPDF化して、eジャーナルで閲覧できるようにする。
- ・2009年の会計を踏まえれば、80～90万円あればやっていける。具体的にホームページを補強するための費用に充てる。
- ・関東部会ではeジャーナル化などによる通信費の節約などにより予算が残っている。使途については、情報の充実により会員に広くいきわたるようにするとよいのではないか。

【決定事項】

- ・ホームページ、eジャーナルの拡充、充実
- ・公式ツイッターをホームページに組み込んでもらう

- ・会計報告（情報公開に対して対応図る）

（２）2011年度予算書案

- ・1月21日に提出しなければならない。来週の水曜日までに大島部会長に連絡。

【報告】

- ・機関紙発行費・・・機関紙の費目を変更する。外部委託できるものは委託する。
- ・運営委員会・・・費用増額の必要あり。

5. 研究奨励賞について

- ・対象研究が少ない。単独で出すには負担が大きい。
- ・社会福祉学評論に掲載されたものが望ましい。
- ・継続審議とする

6. 関東地域部会の運営委員、幹事、その他の担当者について

- ・社会福祉学会への入会の是非が焦点。親学会との整合性を図る必要あり。
部会として運営委員と承認⇔親学会（社会福祉学会入会が前提）
- ・監事：関東部会理事経験者が務める方が良い。福山先生にお願いする。
- ・各大学等へ「次年度運営委員推薦のお願い」
大会までに依頼の回答を集約し、大会で諮る。

■次回は、2011年3月12日11:30-12:20

（記録：日本社会事業大学・添田正揮）